

八方原地区の市道をおよそ 2000メートル近くを1時間ほどの作業できれいにされました。老人会の班別に担当カ所を決めて合理的です



シルバーパワーに頼るだけでは限界

今回参加のメンバーは24名。お元気な「シルバー」が丁寧に道路の除草をしてくださいました。老人会会長の國重さんのお話では、なかなか新規の会員の加入が難しいとのこと。70歳代はまだまだ仕事を

農道の除草は重要な共同作業です。農道だけでなく農地隣接道路も共同作業の対象になります。

9月17日は敬老の日です。この祝日に「ハツポウクラブ」八方原老人会は、全国一斉奉仕活動として農地隣接道路の除草清掃活動を実施されました。

嘆いておられました。

近年、「エイジズム」という考えが広がりつつあります。年齢を理由にした偏見や差別の総称ですが、必ずしも誰もが同じようになるわけではないし、それぞれの活躍の場を閉ざすものではないという考えです。従来のように老人会の仕事として、固定的に考えることが、問題なのかもしれない。

している人も少なくないのと、活動がままならないと

水路の土砂除去も水の管理とタイミン

今年7月の豪雨で流れ出てきた土砂が水路の中にまだ残っています。撤去するには、水流を止めることになり、稲作への影響を考えて、ずっとそのままにしてあります。

「日本晴れ」品種の収穫準備で水の流れが弱まりましたので、撤去作業が始まり



ダンプカーに数杯分はありそう

この土砂は、上流にある不動様周辺から流れ落ちてきたものと思われる。今まで無かったことでした。



9月とは言え日中は夏のように

草刈り作業で水路管理

水路のり面の除草は5・7・9月の第1週を基準日に行っています。農地所有者の方にその日の前後に共同作業をお願いしています。今年も最後の除草活動が行われていました。

中郷八幡宮の秋の例祭に多くのご協力



参道は事前に除草剤を散布して掃除が楽にできるように準備

中郷八幡宮の秋の例祭が9月19日に行われました。例祭の前には各自治会がそれぞれの担当力所を除草清掃をしました。

9月10日に、4・5・6班の有志に参加いただき当自治会の担当の参道部分を清掃しました。

例祭は本来3台の神輿を引き出し、本殿に引き上げて御霊を移動させ、その神輿を「浜辺」の御旅所まで担いでいくのですが、人員も足りません。そこで、一台の神輿を参道のそばの広場まで移動させ、祝詞を上げていただくことになりました。

それでも太鼓、傘、槍や盾などを従えての行列でした。



三台の神輿は、本殿の北側の倉庫に格納されている

イノシシ「やっちゃん」現る

イノシシがかなりあちこちで畑を掘り返しているのは分かっていました。9月15日の朝は特別でした。

早朝に「晋作」(犬)を連れて散歩に出ると、何か異様な物音。「何だこの音は?」、音の方向を見るとイノシシが2頭佐々木康弘さんの農舎の裏で動き回っています。そのうちの1頭が。こちらに気が付きました。

どうやら「犬」が気になる



イノシシ「やっちゃん」、物音にこつちを振り向く

ようです。こつちの方向に向いて近づいてきます。立ち止まると首を上下にさせて、完全に突撃体制です。

「これはまずい。」自宅の庭に避難して事なきを得ましたが、イノシシもすぐに山に帰ってしまいました。

その際に手持ちのカメラで写真を撮りました。八方原に居住しているのなら、名前を「やっちゃん」としましょう。

やっちゃんはこれからも来るでしょう。早朝や夜間の外歩きされる方は少なくありませんが、十分に注意をされることをお勧めいたします。原田茂樹

勝ち負けなんて問題じゃない

9月17日、インディアカとスローピッチソフトボール大会が行われました。

八方原自治会ではソフトボールに出場しました。今回は参加チームも4チームと少し寂しいのですが、熱戦が繰り広げられました。

勝敗よりも地域内の融和が重要です。汗を流した後は、「アダン」(4班町田さんの経営)で慰労会。楽しいひと時となりました。

こんな仕事をしたいね

こどもたちに職業体験を通じて地元への愛着を持っていただくというところから始まった、「新山口夢フェスタ」が9月17日に、小郡地域交流センター

で開催されました。



最後の餅撒きは小雨の中だった

薬剤師による薬の調合、化粧品アドバイザー、医師用の内視鏡の操作などたくさんさんの経験ができました。